

市街地の重大交通事故根絶に向けた 『通学路 Vision Zero』の提案



朝霞第五小学校スムーズ横断歩道 (久保田尚さん撮影)

交通事故がここ数年下げ止まりの傾向をみせるなかで、わが国で特に長年の課題となっている「市街地の歩行者事故」の根絶を目指すことが急務となっています。

そのための最初のステップとして、『通学路 Vision Zero』を提案し、実践を続けておられる久保田尚さんに、“ゾーン 30 プラス”とその手法を活用した今後の展望について、お話しいただきます。

《講師》

ひさし
久保田 尚さん (埼玉大学名誉教授)

《講師のご紹介》

埼玉大学名誉教授、日本大学客員教授。専門は都市交通計画、交通工学。交通安全の分野では特に生活道路の安全対策について取り組まれています。1996年のコミュニティゾーンから近年の“ゾーン 30 プラス”に至る種々の取り組みのなかで、「この分野の難しさ、そして何より重要さを痛感している」と言われています。著書(共著)に、『改訂生活道路のゾーン対策マニュアル』(交通工学研究会、丸善出版、2017年)、『改訂新版 読んで学ぶ交通工学・交通計画』(理工図書、2022年)など。



鳥取市(会員撮影)

《日時》

2025年4月19日(土)
15:30 ~ 17:30

《会場》

きゅりあん 中会議室 (6階)

(東京都品川区立総合区民会館)

<https://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/access.html>

(きゅりあんの看板は建物上部にあり目立たないのでご注意ください。正面の壁に LABI の赤い文字が見えます。)



《主催》クルマ社会を問い直す会

《参加費》 無料 (どなたでも参加自由)

《Zoomでの参加申込》

4月16日(水)までに E-mail にて下記へ、ご氏名、メールアドレス、電話番号(緊急用)を添えてお申し込みください。後日案内メールをお送りいたします。

※会場での参加希望の方も青木までお知らせください。メールにて資料をお送りいたします。

《参加申し込み・お問い合わせ》

青木 勝(クルマ社会を問い直す会 共同代表) E-mail : osakahorai551@yahoo.co.jp